

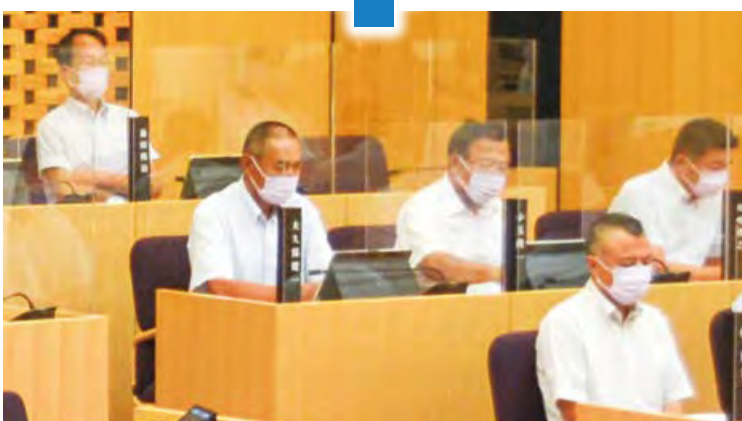
越前市議会だより

第73号

令和5年(2023年)8月4日(金)
 発行 編集 越前市議会
 〒915-8530
 福井県越前市府中一丁目13番7号
 TEL:0778-22-3426
 FAX:0778-23-3000
<https://www.city.echizen.lg.jp/shigikai/index.html>



↑ アクリル板を撤去した議場



↑ コロナ対策時(アクリル板設置)



↑ コロナ対策時(傍聴席の座席制限)

新型コロナウイルス5類移行

本来の議場で 熱い審議

6月定例会では、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、令和2年度以降、議場・委員会室に設置していたアクリル板を全て撤去するとともに、議場等ではマスク着用も個人判断とし、コロナ禍前の状態に戻して審議を行いました。

また、傍聴についても、マスクの着用を自由とし、座席制限を解除しました。

約3年にわたるコロナ対策のための閉鎖的な環境での審議から一転、アクリル板を取り除いた開放的な議場での審議に、自然と議論にも熱が入りました。

しかしながら、今定例会でも新型コロナウイルスワクチン接種事業の予算が計上されるなど、コロナ対策は継続して実施されています。引き続き体調管理や日々の感染対策を怠ることなく、議会活動に取り組んでいきます。

6月定例会の概要

令和5年6月越前市議会定例会は、6月13日から7月5日までの23日間にわたって開かれました。

この定例会では、令和5年度一般会計補正予算案2件、「越前市市税賦課徴収条例等の一部改正」などの条例案2件、工事の請負契約についての一般議案1件が提出され、本会議における質疑、各常任委員会の審査を経て、いずれも原案どおり可決しました。

このほか、専決承認案を4件承認し、議員の派遣案1件を承認しました。



本号の主な内容

- 2面 ◆ 議案審議・委員長報告
- 3面 ◆ 議決結果・委員長報告
- 4～5面 ◆ 一般質問
- 6面 ◆ 視察報告・市民と議会との語る会
- 7面 ◆ 政務活動費報告 ほか
- 8面 ◆ 小学校議場見学
- 9月定例会の日程

6月補正予算

一般会計 4億1,860万4千円の補正予算

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業
- 燃油・肥料高騰緊急対策事業
- 省エネトライアル促進事業 ほか

6月定例会 議案審議



その他の審議については、9月掲載予定の会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム [検索](#)

条例審議

■ 森林環境税の導入と理解促進

越前市市税賦課徴収条例の一部改正について

問 森林環境税の導入経緯および金額は。

答 国において、温室効果ガス排出削減目標の達成および災害防止等を図るため、平成31年3月に法律が成立した。森林環境税の導入に先立ち、令和元年度から市町村、都道府県に森林環境税として交付されている。

問 森林環境税は令和6年度から実施される予定であり、国民一人一人が等しく負担して森林を支えるという観点から、個人住民税均等割の枠組みを用いて一人年額1000円を賦課徴収するものである。

問 森林環境税の用途は。

答 市総合計画において3つの柱を示しており、一つは林業産業としての生育を目指すもの。二つ目は防災、治山。三つ目は市民に広く森林に親しんでもらえるよう活用していくことを目指している。詳細については、今年度、市森林・林業マスタープランを作成する中で広く市民や議会の意見をお聞きしながらまとめていきたいと考えている。



補正予算審議

■ 国産麦・大豆の生産拡大を目指す

農業生産総合対策条件整備事業

791万2千円

問 補助内容は。

答 国産の麦、あるいは大豆の取組拡大に対して補助を行うものである。

問 この時期から補助を行うのは麦や大豆の生産上問題はないのか。

答 当地では、麦は10月に種まきを行い、越年して5月下旬から6月に収穫を行う。大豆は6月に種まきをして、10月に収穫を行うため、問題はない。

■ 親子ワークショップのモニター実施

観光推進事業

200万円

問 事業内容は。

答 大都市圏の共働きの子育て世代を対象に、親子ワークショップの企画、開発を行い、モニターツアーを実施するものである。

夏休み期間中に6泊7日および3泊4日のツアーを、それぞれ2家族分のモニターツアーとして実施する。親子ワークショップの期間中、親は宿泊先でテレワークを行い、子どもは一時預かりが可能な保育園や児童館、地域活動団体などで受け入れを行っていききたいと考えている。宿泊先は農家民泊やゲストハウスで行う。モニターツアー実施後はヒアリングなどを行い、商品化に向けて検討していきたい。

問 本事業の実施に至った理由は。

答 子育てや共働きに係るコミュニティ「ikumado」の担当者から、本市が子育て環境が充実した親子ワークショップの適地として、市観光協会に打診があり、市もこれを契機に交流人口や関係人口の増大に向け、親子ワークショップに取り組みたいと考えたためである。

問 4家族分で200万円の予算を計上しているが、その内訳は。

答 旅費と宿泊費として110万円、企画、運営等の委託料として161万円、農業や伝統工芸の体験料として2万円の合計273万円を計上している。市はそのうちの200万円を負担し、残りの73万円は市観光協会が負担する予定である。

■ 高止まりを続ける燃油・肥料への支援

燃油・肥料高騰緊急対策事業

3515万7千円

問 支援の内容は。

答 現在、水稲などにかかる機械作業に必要な燃油および肥料が高止まりを続けているため、高騰分に対して県と市がそれぞれ1反あたり1000円を支援するものである。



常任委員会 委員長報告

教育厚生委員会

新型コロナウイルスワクチンの接種推進を

問 昨年度の接種事業における課題は。

答 集団接種の期間後半は接種数が減少したことにより、医師の待機時間が増加する課題があった。今年度は個別接種を基本として実施していくが、医師会と相談し、状況に応じて集団接種も考慮していくので、その際に課題についても対処していきたい。



産業建設委員会

親子ワークショップの事業を移住定住につなげる工夫は

問 親子ワークショップ事業を移住定住につなげるためには、事業実施後のフォローが重要だが、どのように考えているか。

答 実施の直後に参加者へのヒアリングなどを行い、実施事業者が報告会を行う予定である。その後は年度末までに旅行商品の造成に向けてしっかり打ち合わせを行っていききたい。

省エネ設備トライアル促進事業の周知を
問 対象商品リストの検索方法や申請方法の周知方法は。

答 市ホームページ等の掲載を分かりやすく工夫するとともに、場合によっては取付工事を行うことが予想されるため、施工業者にもしっかり周知を行いたい。

議案の議決結果

令和5年6月越前市議会定例会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

| 議案 | 件名 | 付託委員会 | 議決結果 |
|--------|--|--------------|--------|
| 議案第37号 | 令和5年度越前市一般会計補正予算(第2号) | 総務 教育厚生 産業建設 | 可決(全員) |
| 議案第38号 | 越前市市税賦課徴収条例等の一部改正について | 総務 | 可決(全員) |
| 議案第39号 | 専決処分の承認を求めることについて(令和5年度越前市一般会計補正予算(第1号)) | | 承認(全員) |
| 議案第40号 | 専決処分の承認を求めることについて(越前市市税賦課徴収条例の一部改正について) | | 承認(全員) |
| 議案第41号 | 専決処分の承認を求めることについて(越前市都市計画税条例の一部改正について) | | 承認(全員) |
| 議案第42号 | 専決処分の承認を求めることについて(越前市国民健康保険税条例の一部改正について) | | 承認(全員) |
| 議案第43号 | 越前市議会委員会条例の一部改正について | | 可決(全員) |
| 議案第44号 | 令和5年度越前市一般会計補正予算(第3号) | 総務 教育厚生 産業建設 | 可決(全員) |
| 議案第45号 | 工事の請負契約について | 教育厚生 | 可決(全員) |

議会活性化 特別委員会報告

本委員会は、6月29日に開催しました。本委員会では、これまで検討してきた議員報酬と定数について議会モニターや市自治連合会など4つの団体に説明し、意見聴取を行いました。今後はその内容を取りまとめ、議員間協議を行うとともに、今年度秋に開催予定の「市民と議会との語る会」においても、さらに市民の意見を聴取することで合意しました。

しかしながら、意見聴取を行う中で、議員の活動内容がまだまだ理解されていないこと気づかれました。議員の成り手不足解消のためにも、いかに議員活動を知ってもらい、興味を持ってもらうかが課題であり、今後の周知のあり方の必要性を認識しました。

また、前回の委員会において、今後、新たに取り組むべき項目として決定した市の将来を担う子どもたちへの議会に関心をもち、今年度秋に有事の際における継続した議会運営の対応策、市議会議員政治倫理条例の課題整理の3項目について、担当者を決し、今後は担当者ごとにスケジュールを決定し、委員会の中で協議を行いながら進めていくこととしました。

公共交通対策 特別委員会報告

本委員会では、5月19日に越前町のデマンドタクシーの取り組みについて視察を行いました。

越前町では、令和3年1月に越前町地域公共交通計画を策定し、コミュニティバスの持続的な運行に向けた効率化や利便性の向上を掲げ、路線の需要を見極め一部路線を見直す中で、令和4年4月から、デマンドタクシー「チョイソコえちぜん」の導入に至ったとの説明がありました。

越前町のデマンドタクシーは、朝日地区、織田・宮崎地区の区域内の近距離移動を支える交通手段で、予約は電話またはインターネットで行い、自宅から停留所までを一般の人は500円、70歳以上の人は400円、運転免許を返納した人は300円で移動できます。

仕組みの検討としては、市内交通デザイン検討委員会において、コミュニティバスの新たな運行区域、停留所、料金等について検討しており、令和2年からは、デマンドタクシーの導入に向け、既存バス、タクシー事業者への説明や協議を重ねていたとのことでした。

また、利用促進策として、健康診断の会場やスポーツイベントなどでの広報活動に加え、商工会と連携し、地元商店街で利用できる商品券を3回以上乗車した利用者に進呈する企画などにも力を入れていました。

委員からは、路線バス、コミュニティバス、デマンド交通の役割を整理し、市の公共交通を総合的に考えていく必要がある等の意見がなされました。



デマンドタクシー「チョイソコえちぜん」

表彰

議員在職20年

- ・全国市議会議長会
- ・北信越市議会議長会

- 議員 城戸 茂夫
- 議員 川崎 悟司
- 議員 小形 善信



川崎 悟司 議員 小形 善信 議員 城戸 茂夫 議員

6月定例会 議会人事

南越清掃組合議会議員

川崎 悟司

議会活性化特別委員会

- 委員長 桶谷 耕一
- 副委員長 小形 善信

6月定例会 一般質問

6月定例会では、15人の議員が6月20日、21日、22日の3日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

農 林

民生・児童委員のなり手不足について

民生・児童委員のなり手不足を解消するために、待遇改善や業務負担の軽減ができないか。

委員は無報酬ではあるが、県から活動費が支給されているほか、市から所属する地区民協協議会に事業委託費が支払われ、組織強化や活性化を図っている。活動費の増額については、継続的に国・県に要望しているところである。また、一人暮らし高齢者の増加などにより業務が年々増加していることから、形式的事務の削減など、委員の負担軽減に努めている。

他の質問項目
・民生委員が支払っている会費等の金額は

市の障害者雇用について

国は障害者法定雇用率を民間で2.7%にすることを決め、それに伴い、地方公共団体等も3.0%に引き上げられることとなった。一方で、数年前まで本市は障害者の正規雇用枠があったが、現在は、その枠がない。その経緯は。

当時、市の障害者雇用率が法定雇用率を下回っていたことから、会計年度任用職員と併せて募集を進めてきたが、現在は法定雇用率を満たしたことから、次の段階として、働きやすい職場環境の整備に努めている。今後、必要に応じて正規職員としての採用を考えていきたい。

他の質問項目
・家庭から出る生ごみの堆肥化の推進を
・市内のガバナンス体制の確立を

公約としていた鳥獣害対策の侵入防止柵にかかる公費設置について

高齢化が進み、人口が少ない山際集落では、鳥獣害対策用侵入防止のワイヤーメッシュ柵を支給されても設置が出来ない。市長は選挙時に「公共事業として設置」と言っていたが、どうなったのか。

山間地にある高齢化や人口減の集落において、鳥獣害対策の人員が決定的に不足している状況は、市も大きな課題として考えている。実態を反映した支援策を、国・県に対し、強く要望してきたところである。

他の質問項目
・鳥獣害対策実施隊の育成について
・斎場の建て替え計画について

次代への森づくりについて

森林が置かれていく厳しい現実を踏まえ、防災や自然環境の面からも、非常に重要な次代の森づくりに対する市長の思いは。

かつて山や森林は人々の生活に欠かせないものであったが、今では誰も山に入らなくなった。そのため、環境・防災などの様々な機能があることが、市民に伝わっていないのが現状である。森林環境譲与税を活用し、分かりやすいかたちで事業実施し、周知していくことが大事だと考えており、山のよさを伝えていきながら、山の行政、森林行政に力を入れていきたい。

他の質問項目
・まちづくり計画と市民参加



一志会 佐々木 哲夫



市民ネットワーク 土田 信義



市民ネットワーク おおくぼ 保穂子



会派 創至 能勢 淳一郎

新 幹 線

越前たけふ駅周辺における次世代の農業とは

新幹線開業後も当分は農地が広がると思われる、「食と農のエリア」としての景観や解放感を売りとして持続可能な農業を展開していくべきでは。

農地的利用ゾーンにおいては新たな農業環境の創出によって長期営農希望者の農業継続や、6次産業施設の導入などが進むことをイメージしており、エリアの特色として打ち出せるよう、近隣事業者や農業者を支援していきたい。農産物、農業加工品に特化した空間への検討については、関係者等の意見を聴取しながら、エリア全体での効果的な方法を見出していきたい。

他の質問項目
・人口減少時代の福武線について

農業における脱炭素の取り組みについて

農業における環境負荷低減に向けて、どのような取り組みを考えているか。農林水産省が進める農業における脱炭素を商品表示する「見える化」や、中干し期間延長によるJクレンジット制度に取り組み考えはあるか。

既に多くの農業者が、環境調和型農業などで脱炭素の取り組みをしている。「見える化」事業やJクレンジット制度についても関心を持っており、積極的に取り組むことで、脱炭素の取り組みを加速化したい。

他の質問項目
・市長・副市長のトップセールスについて
・有機農業拡大プロジェクトの進捗について

新幹線開業に向けJRへの要望を示せ

かがやき停車やダイヤの件等、JRに対する戦略を図れ。

本年3月に市長、議長、商工会議所会頭が、JR西日本金沢支社に対し、越前たけふ駅へのかがやき停車や、JR武生駅及び鯖江駅の特急列車停車本数と同等数の停車を要望した。7月にも丹南市町合同で更に要望を行う。あわせて敦賀駅からの乗り継ぎの利便性、乗継割引、東海道新幹線経由との均衡の取れた価格設定についても要望している。

他の質問項目
・道の駅の開業後の状況について

観光の推進、振興について

道の駅越前たけふ観光案内所を広域観光の拠点と位置付け、丹南広域観光協議会など広域での運営などで広域観光を充実せよ。

北陸新幹線県内開業に向け、丹南地区のゲートウェイとして、伝統的工芸品、越前ガニ、越前おろしそばなどの地域の強みをPRし、丹南5市町が連携を深めることで、広域観光の相乗効果を図りたい。また、観光案内所の運営については、本市がリーダーシップを取り、丹南5市町と連携することで、誘客の相乗効果を図りたい。

他の質問項目
・障がいのある子どもへのインクルーシブ教育について
・音声コード ユニボイスの普及について



諸派(公明党) 桶谷 耕一



会派 郷働 近藤 光広



誠和会 おおくぼ 保穂子



会派 郷働 川崎 悟司

※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をたずねるために
行う質問のことをいいます。

少子化

少子化について

問 日本の少子化の原因はどのようなものが考えられるか。

答 最近の少子化の背景には、①経済的な不安定さや出会いの機会の減少
②仕事と子育ての両立の難しさ③家事や育児の負担が依然として女性に偏っている状況④子育ての孤立感や負担感⑤子育てに係る費用負担などが挙げられる。さらに、若年世代の就職や結婚、子育てなどに対する価値観の変化など、様々な要因が複雑に絡み合っているものと考えられる。

他の質問項目

- ・空き家対策について
- ・デマンド交通について



会派 郷働
小玉 俊一

防災

市民の防災意識を高める取り組みを

問 災害発生時に一人でも多くの命を守るために、市民の防災意識を高める新しい取り組みを要望するが、市の考えは。

答 市民に当事者意識を持ってもらうために、本年度は地区単位で説明会を開催し、個別避難計画の重要性について理解を求めている。市では今後も、計画づくりや防災訓練を通して、町内の自主防災組織など地域の方々とともに、平常時から地域で支え合う体制づくりを進め、防災意識の向上に努める。

他の質問項目

- ・本市の観光振興について



市民ネットワーク
砂田 竜一

教育

教育現場におけるチャットGPTへの対応は

問 生成AI「チャットGPT」を本市はいち早く導入した。このチャットGPTは誰もが容易に利用でき、急速に広がっている。タブレット教育が始まった小中学校での取り扱いをどのように考えているか。

答 文部科学省が夏前に出す予定の指針では、使用に適切な年齢、規制すべき場面、生成AIについて学ぶ授業や活用法を示す方向で検討が進められているようであり、市はその指針に従って対応する。

他の質問項目

- ・公共交通を担う事業者の人員不足の問題について
- ・「市ゼロカーボンシティ宣言」後の取組みについて

教育費負担軽減で学校給食費の無償化実施を

問 世論調査では、子育て世代が教育費軽減を強く求めていることが明らかになっている。給食費の無償化は全国で急速に広がっており、早急に実施すべき課題であるが市の見解はどうか。

答 無償化には大きな財源が必要であり、今後の国の動向も踏まえて、市全体の中で判断していく。食材価格の高騰などで保護者負担が増えないように補助しており、今後の物価上昇分についても支援を考えている。

他の質問項目

- ・地域の文化活動、文化団体への支援と育成について
- ・トラブルが絶えないマイナンバーカードの不安拡大について



諸派 (日本共産党)
前田 修治



会派 創至
安立 里美

公園管理

都市公園の包括管理業務委託について

問 街区公園について、地元と包括管理業務委託者との維持管理協定の有無と今後の対応は。また、紫式部公園等、景観が重視される公園の管理は、専門的な業者が管理する方が良いのではないか。

答 協定締結は、76箇所の街区公園のうち、43公園で締結しており、残りについては、業務委託者と連携し締結に向け推進していく。都市公園の中でも特に景観が重視される公園については、専門家の協力を得ながらきめ細やかな管理が行えるよう、維持管理形態を見直していきたい。

他の質問項目

- ・千年未来工芸祭について



一志会
清水 一徳

多文化

新たな市多文化共生推進プラン改定に向けて

問 不登校など様々な事情により、十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方や、外国籍の方などの義務教育を受ける機会を保障するため、本市に夜間中学を設置する考えは。

答 多文化・複雑化する社会状況の変化の中で、設置のためには指導体制の構築など様々な課題があると考える。現時点では、夜間中学を設置することは考えていないが、県の動向等、情報収集に努めたい。

他の質問項目

- ・第一次プランの最終年度を踏まえ、課題として見えてきたものは
- ・生活困窮に陥った外国籍の方への支援体制は

再び活性化した国際関係への本市の対応は

問 山梨県富士河口湖町にある国際木版画ラボの本市への移転に伴い、年間約40人弱の海外からの芸術家が、街中に滞在することが予想される。地元とのような交流を作り出し、未来へつなげていくこととするのか。

答 国際木版画ラボの移転について、県和紙工業協同組合と連携して木版画協会へ働きかけているところであり、越前和紙ブランドの世界への発信、芸術分野での需要と販路拡大につなげたい。まずは移転に向けたハード整備を実施しながら、地元との交流など、フォローできる体制をつくっていきたい。

他の質問項目

- ・シックススリーエステートワイナリーの進捗状況について



誠和会
畑 勝浩



会派 創至
題佛 臣一



常任委員会 視察報告

総務委員会

4月27日(木)5/28日(金)

愛知県西尾市

・多文化共生の推進について

三重県菟野町

・地域公共交通について

西尾市では、本市同様製造業が盛んで、工業系企業への派遣社員や技能実習生としての外国人市民が増加を続けています。そのため、多文化共生を取り巻く課題に対する基本的な考え方が必要であるとして、「西尾市多文化共生推進プラン」を令和4年3月に策定しました。

このプランに基づき、外国人相談窓口の設置や電話通訳サービスなど、多言語でのコミュニケーション補助に力を入れており、動画形式での情報発信やSNSの活用についても取り組んでいます。特に、YouTubeチャンネルを開設し、制度説明や申請書の書き方、ごみの分別方法など実際の映像を交えて発信している取り組みは、大いに参考になるものでした。

菟野町では、平成16年からコミュニティバスを運行していますが、平成29年時点で運行路線が多く、運行キャパシティと整合性が取れない状況になってきたことから、バス路線を基幹部分にしぼり、平成30年から乗り合いタクシーで補完することで、利便性の向上を図っています。乗り合いタクシーの導入に当たっては、システムを構築し、コミュニティバス・鉄道・タクシーなど異なる交通機関の乗り継ぎや予約を一つのシステムで、ウェブ上からできるようにしました。

現在、高齢者のシステムの利用率は非常に高く、利用者の半数以上がウェブ予約を利用しています。

「高齢者はスマホを使えない」という先入観を取り払い、「使えないなら、教えて一緒に使えるようになる」という考えのもと、取り組みを進めたことが、乗り合いタクシーの利用者増につながっているのではないかと、この説明が印象的でした。

本市においても公共交通のあり方の見直しや、今後の進め方について、それら知見を生かして取り組んでいきます。

教育厚生委員会

4月25日(火)5/26日(水)

三重県松阪市

・認知症初期集中支援チームの取り組みについて

滋賀県守山市

・守山市文化財保存活用地域計画について

松阪市では、国の認知症施策推進総合戦略に基づき、認知症初期集中支援チームが、平成30年度に設置されました。

特色としては、チームに認知症の専門医と精神保健福祉士が在籍しているため、認知症の専門医療機関との連携が取りやすく、随時助言が得られることです。

実績としては、令和3年度以降にチームが介入した支援対象者のうち、家族の介護負担などについて、34世帯中18世帯が改善されたこととしました。

相談体制がしっかりしていることで早い段階での介入、改善につながる一方で、独り暮らしの人への支援は難しいケースが多く、松阪市に限らず、全国的な課題であると感じられました。守山市では、市内の多種多様な文化財を歴史文化の特徴に基づいてテーマ及びストーリーを構築したうえで、6つの文化財群として分類し、文化財ごとではなく、文化財群ごとにまとめて保存活用する取り組みを行っています。

さらに、文化財の所有者や地域の団体などの担い手を文化財群ごとに取りまとめ、結びつけることで、担い手同士の交流、情報共有や相互支援を行っていくための「もりやま文化財ネットワーク」を構築するとともに、サイクリングコースの設定など、観光の視点から楽しめる市内周遊ネットワークの整備を推進しているとのことでした。

担い手同士の交流の場を設けるだけではなく、担い手にも観光についての協議に参加してもらっていることが印象的でした。

本市においても国府の発掘調査をはじめとした文化財の保存活用に係る事業が行われていることから、今回得た知見をそれらに反映すべく取り組んでいきます。

産業建設委員会

5月16日(火)5/18日(木)

静岡県静岡市

・大河ドラマを活かした観光誘客について

宮城県石巻市

・伝統産業の復興について

静岡市では、大河ドラマの放映をきっかけとした誘客周遊促進施策として大学生と連携した町歩きマップの作成や今年1月にオープンした歴史博物館と大河ドラマ館の両館入館者特典割引、重ねてスタンプを押すことで絵が完成する絵葉書スタンプラリーの実施、商店街への周遊や交通渋滞緩和のためにバス停の新設等を行っていました。



静岡市議会における説明

大きく予算をかけずに取り組める周遊施策や名産品の開発等、工夫して取り組んでいる様子は、大いに参考になるものでした。

石巻市では、硯の原料となる雄勝石が採れ、600年以上の歴史と伝統を受け継がれている伝統工芸品雄勝硯の生産販売を行っています。平成23年の東日本大震災によって雄勝地区の約8割の家屋が全壊流出し、全ての生産業者が廃業に追い込まれましたが、2年前から雄勝硯生産販売協同組合を中心に試験的に生産を再開していました。

また大学と連携して新商品開発も行っており、書道に関わる人達の意見を参考に、テーブルウェア等の生産に取り組んでいました。

本市でも、伝統工芸の継承・拡大は重要な課題であることから、今回の視察の知見を施策に生かしていきます。

市民と議会との語る会

5月10日、市自治連合会と語る会を開催しました。

市自治連合会からは、地域自治というよりも行政の下請けのようになっている実態について、問題提起をされました。地域自治の推進のため、行政から自治振興会への業務移管の推移を再考し、市議会がプレーキ役となることを期待していることや、予算配分について、地域格差の是正を希望している点など、切実な意見が投げかけられました。特に役員の手不足は深刻であり、地域での組織づくりがなかなか進まない現状について、改めてその窮状を訴えかけられました。

委員からは、受け手の立場に立って事業を進めることで、地域の負担にならないよう、十分に協議するよう行政に訴えてきたが、今後も改めて強く求めていく旨を返答しました。また、各振興会において、人手不足であることは認識しており、住民主体で進めていくためにも、できること、できないことをしっかりと主張し、連合会・振興会からも強く要望を出していったほしい旨、改めてお伝えしました。



総務委員会



産業建設委員会

5月29日に越前福井森林組合と語る会を開催しました。

越前福井森林組合の取り組みについて、説明を受け、その後森林組合の課題について、意見交換を行いました。

委員からは「若い人の雇用は増えているのか」「福井の木材の強みは何か」などの質問ができました。

森林組合からは「都会の人が林業カレッジを卒業、就職する場面があるが、受講生が少ないと、取り合いになる。林業は直接自然相手の作業なので、なかなか難しい。」「木の相場にはそんなに差はない。管内で言えば池田の木材はこの辺では高く売れるブランドとして評価されている。市場でも別に扱われている。」「需要と供給のバランスの問題があり、木を切っても使うところがないと売れない。」「木造の家を在来工法で作る場合、最近基準が厳しいことから集成材を使うことが多い。集成材を作る工場の誘致も考えてほしい。」「などの意見や、今後策定する市森林・林業マスタープランは現場の声も取り入れたものにしてほしいとの委員の意見がありました。

林業に直接携わっている越前福井森林組合役員からの意見を聞くことができ、有意義な意見交換会となりました。

令和4年度 (8月から3月分まで)

政務活動費収支を報告します



地方自治法、越前市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議会機能の充実強化と、議員の政策立案のための活動基盤の充実を図ることなどを目的として、越前市議会議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として交付されます。

政務活動費の交付および政務活動費を充てることができる範囲については、越前市議会政務活動費の交付に関する条例に定められています。

◎ 政務活動費を充てることができる経費

議員が行う調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、要請、陳情、各種会議への参加等市政の課題および市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費

◎ 交付額

年間 720,000 円 (月額 60,000 円を四半期ごとに支給)
※令和4年度は改選のため、8月～3月分 480,000 円

越前市議会では、政務活動費の使途の透明性を確保し、開かれた議会の実現を図るため、議会だよりでの収支報告の掲載、および市ホームページでは収支報告書に加え、領収書と活動結果報告書を公開しています。

令和4年度 議員別収支一覧表 (令和4年8月～令和5年3月)

(単位:円)

Table with columns: 議員氏名, 支出額, 執行率, 主な支出. Lists 28 members and their respective expenses and execution rates.

Navigation guide for the report. Includes steps: ①越前市議会をクリック, ②政務活動費をクリック, ③年度をクリック. Includes QR code and '閲覧の手順' label.

8期目の 議会モニター始まる

越前市議会では、市民ニーズを反映した議会運営を目指して、議会モニター制度を平成28年に導入しています。

議会モニター制度とは、議会への市民参加を推進する取り組みの一環として、市民の声を議会活動に反映できるように議会運営に対する要望やご意見をいただくための制度です。議会モニターは、要望や意見を述べるだけでなく、議員との意見交換も行っています。

この度、8期目にあたる議会モニターの委嘱状交付式および第一回議会モニター会議を6月7日に開催しました。

議会モニターのみなさん

- 岩田 良司(越前たけぶ農業協同組合推薦)
宇野 純子(武生商工会議所女性会推薦)
江川 幸恵(公募)
小畑 明弘(市自治連合会推薦)
加藤のぶ子(公募)
倉橋 豊(武生商工会議所青年部推薦)
高山 友宏(連合福井丹南地域協議会推薦)
内藤 則幸(公募)
中野 博美(市女性会推薦)
藤 光真(市社会福祉協議会推薦)
前田千斗世(越前市商工会推薦)
三田村範幸(市いきいきシニアクラブ連合会推薦)
三井 義文(武生青年会議所推薦)

(五十音順・敬称略)



武生西小学校・大虫小学校の皆さん、ようこそ議場へ!

越前市議会議場見学 ~小学生が議会の仕組みについて学びました~



武生西小学校4年2組 6月13日(火)



武生西小学校4年1組 6月13日(火)



大虫小学校4年2組 7月4日(火)



大虫小学校4年1組 7月4日(火)

越前市では、小学4年生になると、市内施設めぐりの学習があり、多くの小学生が議場を訪れています。本議会では議員が見学の案内をしています。
武生西小学校では、城戸議員、砂田議員、近藤議員が、大虫小学校では、大久保健一議員が、それぞれ議会の仕組みや役割について、説明を行いました。
児童からは「議長になるためにはどうすればいいのかわからないのか」「議員は何歳からなることができるのか」など、たくさんの質問がありました。そのつど議員から丁寧な回答があり、児童たちは熱心にメモをとっていました。見学の最後には、議場で記念撮影をしました。



席で説明を受ける児童



議会中継は
丹南ケーブルテレビや
インターネット・スマートフォン
でもご覧いただけます

丹南ケーブルテレビの場合

丹南ケーブルテレビで議会放送を見るときは92チャンネルです。議会放送中、091チャンネルは図のようになります。

【通常放送時】

地域ふれあいチャンネル
091ch

【議会放送時】

地域ふれあいチャンネル
091ch 議会放送
092ch 議会放送(重なった場合)
093ch

議会放送を見るためにはリモコンのこのボタンで092チャンネルに合わせてください。



インターネット・スマートフォンの場合

本議会の録画映像は**見たいときにいつでも議員ごとに見ることができます**。議会中継をご覧になるときは、市のホームページから入って次の手順でアクセスしてください。

①越前市議会をクリック



②インターネット議会中継をクリック



9月定例会日程

| 月 日 | 時 間 | 会 議 名 | 丹南ケーブルテレビ再放送予定時間 (変更になる場合もあります) |
|--------------|-------|-----------------------------|------------------------------------|
| 8月31日(木) | 午前10時 | 本会議(提案理由説明) | 9月1日(金)午後6時 |
| 9月4日(月) | 午前10時 | 本会議(質疑・決算特別委員会設置) | 9月5日(火)午後6時 |
| 5日(火) | 午前10時 | 教育厚生委員会 | |
| 6日・7日(水・木) | 午前10時 | 教育厚生決算分科会 | |
| 8日(金) | 午前10時 | 産業建設委員会 | |
| 11日・12日(月・火) | 午前10時 | 産業建設決算分科会 | |
| 13日(水) | 午前10時 | 産業建設決算分科会(予備日) | |
| 14日(木) | 午前10時 | 総務委員会 | |
| 15日・19日(金・火) | 午前10時 | 総務決算分科会 | |
| 21日(木) | 午後1時 | 議会運営委員会 | |
| 25日(月) | 午前10時 | 本会議 (委員会審査結果報告、質疑、討論、採決) | 9月26日(火)午後6時 |
| 29日(金) | 午前10時 | 本会議(一般質問) | 10月4日(水)午後6時 |
| 10月2日(月) | 午前10時 | 本会議(一般質問) | 10月5日(木)午後6時 |
| 3日(火) | 午前10時 | 本会議(一般質問) | 10月6日(金)午後6時 |
| 4日(水) | 午前10時 | 本会議(一般質問・予備日) | 10月10日(火)午後6時 |
| 5日(木) | 午前10時 | 議会活性化特別委員会 | |
| 16日(月) | 午前10時 | 決算特別委員会全体会 | |
| 17日(火) | 午前10時 | 決算特別委員会全体会(予備日) | |
| 19日(木) | 午後1時 | 議会運営委員会 | |
| 23日(月) | 午後2時 | 本会議(決算特別委員会審査結果報告、質疑、討論、採決) | 10月24日(火)午後6時 |